

日本産コガネムシ研究史 (7)

高橋 寿 郎

1936; 高木 茂: クロハナムグリの一新異常型に就いて 昆虫世界; 40 (467): 256~257.

Glycyphana fulvistemma Motsch. の黒色新異常型 *ab. nagoyana* の記載。

1936; 高木 茂: ムモンクロハナムグりに就いて 昆虫世界; 40 (471): 407~408.

1936; 饒平名智郎: 浅間山麓のツノブトエムマコガネ 昆虫世界; 40 (472): 434~435.

ツノブトエムマコガネ *Onthophagus trogus* Fabricius を浅間山麓から記録されているが、之は純東洋区系の種で日本には産しないと、その種は *O. shinanensis* Mats., のことでありその一新変種として *f. brevicornis* Yohena を記載されたが、現在では *O. bivertex* Heyden となっている (邦産種は *subsp. minokucianus* Matsumura となる)。

1936; 加藤正世・久次米正雄: ヒゲブトハナムグリの雌に就いて

昆虫界; IV (25): 134~135.

従来知られていなかったヒゲブトハナムグリの雌についての記載。

1936; 野村 鎮: 尾瀬付近産コガネムシ科糞虫類, 特に最近命名されたる5種に就いて

昆虫界, IV (32): 698~705.

尾瀬付近産糞虫類の記録で松村博士の発表された1934年の5種について邦文の記載が加えられている, この種に就いての取扱は松村 (1934) を参照して頂きたい。

1936; 饒平名智郎: ムラサキセンテコガネに就いて 虫の世界; I (5/6): 12~14.

従来ムラサキセンテコガネと称せられていたものの正体はオオセンテコガネのことであるが, 一部センテコガネをも意味することを論じたもの。

1936; Matsumura, S., *New Caccobius-species in Japan with a tabular key*

Ins. Mats., XI (1 & 2): 61~66.

従来日本産 *Caccobius* 属は5種知られていたが, 本報文で8新種が記載された。これ等の種は次のごとくで現在では整理され1種を残して他は全部シノニムとなる。

p. 62, *Caccobius hirayamai* = *C. jessoensis*. p. 63, *C. jononis* = *Onthophagus viduus.*, *C. kasuganus*

= *C. nikkoensis*. p. 64, *C. narashinensis* = *O. viduus.*, *C. sapporensis* = *C. jessoensis*. p. 65, *C. suzukii*, *C. yubariensis* = *C. jessoensis*. p. 66, *C. yamauchii* = *C. unicornis*.

1936; 三輪勇四郎・中条道夫: 日本産鞘翅目分類目録 Pars. 2, 鍬形虫科, pp. 1~11.

Pars. 3, 黒黽虫科, pp. 1~2.

三輪勇四郎・中条道夫両博士により当時の日本産鞘翅目分類目録発刊を計画され, 始め台湾昆虫研究所より刊行, 後に野田書店に発行が引継がれ執筆者に水戸野武夫氏も加ったが残念ながら Pars. 8迄で中止となってしまった。現在から見れば相当の訂正も誤りもあるが, 之は研究の進歩から言って止むを得ぬことである。当時としては画期的な研究で永く記録に残すべきものである。収録範囲は当時の日本で朝鮮・台湾・樺太もふくんでいる。

1937; 加藤正世: だいこくこがね亜科の分類

昆虫界; V (39): 291~295.

日本産 (台湾, 朝鮮産もふくむ) のダイコクコガネ亜科の分類であるが, 現在の知見では訂正すべき点がある。当時の分類の一段階を知る貴重な文献である。

1937; 昆虫趣味の会: 全日本産鍬形虫科一覽目録

昆虫界; V (45): 765~769.

前記三輪・中条両博士の目録と同様の範囲である。

1937; G. J. Arrow; W. Junk *Coleopterorum Catalogus*. Pars. 156, *Scarabaeidae, Dynastinae*, pp. 1~124

本書は世界のカブトムシ亜科のリストであるが, 日本産は僅か2既知種しか記録されていない。

1937; 加藤正世: 金亀子図説(1)

昆虫界, V (45): 782~783.

Ochodaeus maculatus Waterhouse の図説。

1937; 渡辺福寿: 森林動物相調査報告, 第一輯, 金亀子科 (青森営林局刊)

青森営林局管内, いわゆる三陸地方におけるコガネムシ類の図説で, 65種を54図版で解説している。分類学的新知見はなく, むしろ現在の知見では学名の変更もあり同定の間違も見られるが, 当時の日本産コガネムシ類の分類としては実に貴重な文献の一つとして取扱うべきである。

1937; Matsumura, S., Two New Species of *Caccobius* (Scarabaeidae)

Ins. Mats., XI(3): 120~121.

本論文で *Caccobius* 属の 2 新種が記載されたが、現在では共に整理され他種のシノニムとして取扱われている。即ち *Caccobius matsui* = *C. brevis*. *C. amagisanus* = *C. jessoensis*.

1937; Matsumura, S., New *Onthophagus*-species in Japan with a tabular key

Ins. Mats., XI (4): 150~169.

本論文では *Onthophagus* 属の新種 30 種 (内 6 種は *Yohena* と共同命名) と 1 新記録種並びに 1 新称がふくまれている。この多数の新種も全部が現在では整理されている。

p. 152, *Onthophagus aequiperus* = *O. viduus*. p. 153, *O. akirai* = *O. atripennis*, *O. chibanus* = *O. viduus*. p. 154, *O. chuzhianus* = *O. ater*, *O. hikosanus* = *O. fodiens*. p. 155, *O. hyuganus* = *O. viduus*, *O. ibonus* = *O. atripennis*. p. 156, *O. jedensis* = *O. viduus*. *O. kandai* = *O. olsoufieffi*. p. 157, *O. kawarinus* = *O. ater*. p. 158, *O. kogatanus* = *O. atripennis*. p. 159, *O. komabellus* = *O. viduus*, *O. kozunonis* = *O. bivertex*. p. 160, *O. matsukai* Mats. et *Yohena*, *O. minoi* = *O. viduus*. p. 161, *O. misujianns* = *O. viduus*, *O. miyazakianus* = *O. viduus*. p. 162, *O. oishii* = *O. viduus*. *O. okushirianus* = *O. viduus*. p. 163, *O. oniellus* = *O. bivertex*. *O. shigeoi* = *O. atripennis*. p. 164, *O. shurianus* = *O. viduus*. *O. sobosanus* = *O. fodiens*. p. 165, *O. spurinus* = *O. viduus*. *O. takabayashii* = *O. viduus*. p. 166, *O. ushiodai* = *O. fodiens*. *O. uedanus* = *O. olsoufieffi*. p. 167, *O. yohenai* = *O. bivertex*. p. 168, *O. yubarinus*, 本種は戦後中根博士によりタイプ標本を研究の結果、ラベルの誤りと考えられ日本の fauna から除外されている。*O. yugianus* = *O. fodiens*. p. 169, *O. yumigatanus* = *O. viduus*. 上記の如く唯 1 種をのぞき全部整理されるわけであるが、この 1 種も中根博士によると日本の fauna から除外した方が良いということで、そうなると総ての種が新種でないわけである。

1937; Tesar, Z., *Copris yamamotoi* n. sp.

Čas. Čs. spol. ent. XXXIV (4): 101.

山本弘氏が岩手県松尾山付近の海拔 500~1000m の地点で採集された 10 数頭の標本に基きチェコスロバキヤ国立博物館の Z. Tesar が *Copris yamamotoi* Tesar として新種の記載をされた。本種は現在では *Copris pecuarius* Lewis のシノニムとされている。

1937; 沢田玄正: 日本産ピロウドコガネ属に就いて
日本の甲虫; I (1): 8~33, pl. II~V.

沢田玄正博士の日本産食葉コガネ目シ類の再検討がこの論文から始りその第一として日本産ピロウドコガネ属をまとめられたものであり、その時点における 8 既知種、1 未記録種、2 新種、4 新変種、合計 11 種 4 変種を記載された。この仲間は戦後野村鎮氏の詳細な研究の結果、現在の知見ではだいぶ変っているものがある。一応現在の取扱で変更すべきものを次に掲げておく。

p. 12, *Serica grisea* Motsch. = *Paraserica*. p. 15, *S. nigrovariata* Lewis var. *nigripennis* = form. p. 18, *S. boops* Waterhouse var. *takagii* 及び var. *unicolor* = *S. sawadai* Nomura (1959). p. 21, *S. similis* Lewis = *Nipponoserica*. p. 24, *S. similis* Lewis var. *daisensis* = form 属名は *Nipponoserica*. p. 25, *S. orientalis* Motsch. = *Maladera* (s. str.). p. 26, *S. japonica* Motsch. = *Maladera* (s. str.). p. 27, *S. kamiyai* = *Maladera* (s. str.). p. 29, *S. spissigrada* Brenske = *Maladera* (s. str.). *renardi* (Ballion). p. 31, *S. motschulskyi* Brenske = *Maladera* (s. str.). *renardi* (Ballion).

1937; 野村 鎮: 日本産コブスジコガネ属に就いて
日本の甲虫; I (2): 77~86, pl. IX.

日本産コブスジコガネ属の分類学的研究であり、台湾産 1 種をふくみ 6 種の記載でその内 1 新種の記載がある。即ち p. 81, *Trox mutsuensis* Nomura.

1937; 沢田玄正: 日本産シマピロウドコガネ属に就いて

日本の甲虫; I (2): 97~102.

日本産シマピロウドコガネ属 2 種についての分類学的論説。

1937; 沢田玄正: サツマコフキコガネに就いて
日本の甲虫; I (2): 102.

本州からの記録であるが、現在未だ問題はあろうである。

1937; 神谷一男: 日本産甲虫図譜(三)
日本の甲虫; I (2): 61~62, p. 8.

1937; 平山修次郎: 原色千種昆虫図譜 (三省堂版)

尚前報文(6)の1930年の所で神谷一男: マダラクワガタ (*Aesalus asiaticus* Lewis) に就いて。昆虫; IV (4): 277~279, を追加します。

本報文は表題のごとく、マダラクワガタに就いて図説されたものであるが、当時としては大変貴重な文献である。

(11-V-1975)